

様式 2

安曇野市農業農村振興計画推進委員会 会議概要

- 1 委員会名 (平成25年度)第3回 安曇野市農業農村振興計画推進委員会
- 2 日 時 平成25年10月21日(月) 午後2時00分から午後3時20分まで
- 3 会 場 三郷公民館 1階 講堂
- 4 出席者 佐藤委員長、浅川委員、岡山委員、久保田委員、下田委員、鈴木委員、曾根原委員、丸山(秀)委員、丸山(光)委員、三澤委員、望月委員、一志委員、深澤委員、川上委員、河村委員、渡辺委員、帯刀委員、平林委員、白澤委員、唐木委員
- 5 市側出席者 山田部長、宮澤課長補佐、等々力係長、樽沼再生協次長、沖係長、奈良澤副主幹
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 0人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 平成25年10月25日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開 会 (沖係長)
 - (2) あいさつ (佐藤委員長) (山田部長)
 - (3) 協議事項
 - ・平成24年度 取組状況の点検・評価、提言[纏め]
 - (4) その他
 - (5) 閉 会 (沖係長)
- 2 協議事項
「安曇野市農業・農村振興計画に係る平成24年度実施状況の点検・評価結果(案)」・資料1に基づき協議
 - ◎資料① 平成24年度実施施策進捗状況評定表 (事務局より説明)
[委員長]
 - ・点検評価の方法(案)についての説明でよいか。
[事務局]
 - ・はい、そうです。
[委員]
 - ・評定の項目の中で、空欄箇所の評価はどの様になっているのか。
[事務局]
 - ・振興方針、品目の細部項目を含め全体評価については完了、着手等の比率までを明記し、評定については、中項目毎に纏めて評価を付している。
 - ◎資料② 平成24年度数値目標達成状況評定表 (事務局より説明)
[委員]
 - ・数値目標には、来年4月から予定の消費税増税分は含まれているのか。
[事務局]
 - ・基本計画の策定が平成23年度であり、来年4月からの消費税増税分は見込んでいない。
[委員長]
 - ・来年4月に消費税が増税になった場合には、振興計画と実施施策について、増税分を勘案して評価していくのか。
[事務局]
 - ・はい、そうです。
 - ◎平成24年度実施状況の点検・評価結果および資料③～⑥ (事務局より説明)
[委員長]
 - ・市へ評価結果を提出していくのにあたり、無農薬という言葉を使用してもよいのか疑問がある。実際、栽培した無農薬米を表示し販売した場合、関係機関等から、化学性物質無使用という表示での指摘がある。無農薬栽培だと誤解を生じてしまう気がしており、有機栽培のような言葉はどうか。このような指摘をたびたび受けるので、少し検討してほしい。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

安曇野市農業農村振興計画推進委員会 会議概要

協 議 事 項 等

[事務局]

・第2回推進委員会で無農薬栽培をテーマにし、議論いただいた。ご指摘のとおり、推進委員会の評価結果提出にあたり、言葉の使用には慎重になる必要がある。どのような表現にするのか今後、事務局へお任せいただきたい。

[委員長]

・推進委員会として作成し、本日の委員会で決議を採り、市へ提出していく。多少の表現の相違は事務局へ預けてほしい。また、あらかじめ分かっているけれども、こうした方が良いという箇所があれば指摘してほしい。

[委員]

・小規模な加工者への支援策とあるが、6次産業化の具体的な取組みを行う商工会の方から、葉わさびのペーストを商標登録したという話があった。現在、新たな6次産業への取組みとして、わさびの根をパウダー化する加工を行っており、加工施設の整備費用への支援をお願いしたい。

[委員長]

・評価点検(案)へ記載されている文章は、今後の課題と方向性として、委員会での意見を前向きに検討していくという表現である。また、本日の委員会で具体的な数字の検討は難しい。

[事務局]

・現時点での市の取組み状態は、6次産業化等の推進の進捗がやや遅れている評価点検のなかで、小規模な加工者への支援策も取組みを行っている商工会や観光協会と連携しながら、今後取組んでいく必要があることを明記させてもらった。また、今後来年度の取組みのなかでの意見、あるいは個別に委員さんへ相談できる機会があれば担当から話しをさせていただきたい。

・6次産業化法により、認定されれば国からの支援も受けられる。市においては、商工業などの異業種連携の部分で商工観光部でも検討している。このようなことを含め現実、明科の水産加工業者が認定され、国からの補助金を貰い、池田町給食センター跡地へ施設を設け、稚魚を使用した加工品を作成するなど取組みを始めている。国の制度もあるなかで、もう少し具体的な組織体系を含めた提案をいただければ、相談や様々な角度から紹介もできるのかと思っている。また、それに対し市では推進していくことであり、言葉だけではなく、実行性のある対策として後ろ盾・補助をしていけたらと思っている。

[委員]

・資料②について、評価の評定方法が順調と伸び悩みの2項目のみであるが、現状の23年度に対し24年度がマイナスの数値を伸び悩みというのか、同数値を伸び悩みというのか、その辺りははっきりしないと、一般市民が見た場合にどのような評価基準なのか疑問に思ってしまう。評価基準が前年度に対し、マイナスでも伸び悩みだというのが、伸び悩みは進展がない数値ではないかと思うがいかがか。

[事務局]

・例えば、7ページの品目別目標においては設定根拠が明記されていないが、策定時に農協との協議のなかで目標数値をはじき出した。したがって評価基準としては、平成28年度目標数値と平成23年度現状数値の差を、計画期間の5年で割った数値の比較とし、その数値が上回っているか、下回っているのかで評価を行った。数値を個々に見ると、様々な進捗要因が考えられるが、あくまでも推進委員会としての一律の基準を設ける為に、単純かつ客観的に2つの評価基準とした。

[委員]

・資料①の農業後継者の確保・育成の評定について、概ね順調と評価されている。数値上は概ね順調かもしれないが、現実では概ね順調とは言えない状況であると思うが、あくまでも数値上のみでの判断なのか。

[事務局]

・現実には順調でないかもしれないが、計画を策定し実施施策を展開する上では、現在の課題である将来を担う農業者を確保・育成していく視点から、順調に進んでいる。

[委員]

・後継者対策について、今後もさらに検討を重ね行政で後押ししてもらい、後継者が育つような環境を作っていたいただきたい。

[委員]

・評価基準の表現の取り方について、取組・達成報告シートに5段階(A完成～E見直し)の設定基準があり、年度(時間)を経過するごとに実施施策が、例えば概ね順調の意味合いでよいのか。

[事務局]

・あくまでも数値上で見た場合の比較として評価基準を設けてあり、この基準に照し合せ、数値上で上回っているのか、下回っているのかで判断している。

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。

安曇野市農業農村振興計画推進委員会 会議概要

協 議 事 項 等

[委員長]

・完成や着手などを率にしてしまうと、現実と相違する箇所が必ずある。意見はあると思うが、推進委員会は来年度も継続していくので、必ず活かすこととしたい。

それでは、農業農村基本条例第13条3項に基づき採決に入りたい。本案に賛成の方は挙手をお願いしたい。

[出席委員20名/挙手全員]

[委員長]

・全委員賛成により、本案可とする。

事務局より、案として提出された資料の案の字を消していただきたい。

◎今回の点検評価結果に対する、今後の市の対応(事務局説明)

[委員長]

・推進委員会は基本計画、アクションプランの中身を充実していくことも大切であると思う。単に参集し意見を述べるのではなく、計画そのものを理解することも必要である。安曇野市の農業・農村を良くしていく為に、前向きに、土台はしっかりと異業種にあたる委員同士での情報交換も大事である。来年度も実効性のある委員会にしていきたい。

以上

※会議概要は、原則として公開します。会議終了後、2週間以内に作成しホームページへ掲載すると共に閲覧に供してください。

※会議を非公開又は一部非公開とした場合は、その理由を記載してください。